

兵庫県建築構造研究会会員各位

建築振動を理解するためのワーキンググループ設立趣意書

1. 目的

建築構造の耐震設計は、当初経験則と静的な考えの基に規定されてきました。その後建物の高さ制限が撤廃され超高層建物の建設が可能となりましたが、60mを超える建物には地震動による動的解析の検討が必要となりました。1981年には地震動の特性や建物の動的解析の開発・発展に伴い建物の動的な性状を考慮した耐震設計法が提案され、新耐震設計法の公布・施行となりました。近年は、一般の建物にも地震時の応答性状を理解して耐震設計を検討する傾向にあります。

以上のような実情に鑑み、建築振動の基礎について勉強をする機会として、本研究会内に建築振動を理解するためのワーキング・グループ（建築振動WG）を設立します。

2. 勉強内容

- (1) 建築物の動的性状（固有周期、減衰効果、共振現象等）について
- (2) 地震動の性状（加速度、卓越周期、継続時間、震源距離等）について
- (3) 建築物の地震応答（解析法、変位応答、層間変形角、層せん断力等）について
- (4) 地盤内を伝播する波動（反射・屈折、重複反射理論等）について
- (5) 建物の地震応答に及ぼす地盤（固有周期と卓越周期の比）の影響について
- (6) ソフトを使った振動解析

3. 部会活動

- (1) 活動期限：3年間程度
- (2) 開催日：2カ月に一度程度
- (3) 第1回WG：7月12日（水）午後。以降、奇数月の第2水曜日を予定
- (4) WG部会長、庶務、開催日・時間などは第1回WGにて決定

本WGに関心のある方は、(氏名、勤務先、メール・アドレス、電話番号)を明記の上下記連絡先までメールにてお申し込みください。(締切：7月2日(日) 23時59分)

連絡先： 日下部 馨 (E-mail : kusakabe@kcc. zaq. ne. jp)

平成29年6月

建築振動WG世話役	神戸大学名誉教授	日下部 馨
〃	加治木 設計	溝口 広臣
〃	ユニオンシステム(株)	山崎 巧